

## 発刊にあたって



2014年11月1日、当社は創立60周年を迎えました。

これもひとえに、神戸製鋼をはじめ神戸製鋼グループ各社、お取引先ならびに関係各位のご支援ご厚情はもとより、創業以来、幾多の困難や苦境を乗り越えて、今日の発展に尽くしてこられた諸先輩や従業員の皆さんの弛まぬ努力の賜物であり、ここに深く感謝するとともに、心より厚く御礼申し上げます。

当社の始まりは、株式会社神戸製鋼所資材部運輸課海運係と丸谷海運商会が合併し、丸神海運株式会社が創立された1954年にさかのぼります。その後、2000年と2002年の二度の合併を経て、今では、神戸製鋼グループの物流機能の一翼を担う総合一貫物流会社へと成長しました。その成長の歴史につきましては、これまで『神鋼海運30年史』、40年史『この10年の航跡』、50年史『この10年の軌跡』と10周年を節目に記念誌を刊行してまいりました。このたびも創立60周年を記念し、そして未来への思いを込めて、『この10年、そして未来へ』と題し本記念誌を発刊いたしました。ご高覧賜れば幸甚に存じます。

この10年を振り返りますと、2008年のリーマン・ショックを境に当社の経営環境も大きく二分する激動の時代でありました。

長らく低迷が続いていた日本経済が、堅調に推移する米国経済と高成長の中国に支えられ景気は回復し好調に推移する中、当社の業績も過去最高を記録した前半から一転し、後半は、世界的な景気の減退を背景に、急激に経済状況が悪化し業績は低迷しました。また、2011年の東日本大震災では関東物流センターの被災もあり、当社を取り巻く環境は非常に厳しいものでありました。

しかし、この間も、神戸製鋼グループの一員として、グループの発展と成長にあわせ、中国・インドで現地法人を開設しグローバル展開を進める一方で、CSR推進室設置によるコンプライアンス強化や、技術室を新設し技術力の強化を図るなど、経営基盤と企業体質の強化に取り組んでまいりました。その結果、ようやくその成果も現れてきました。

この先、世界情勢に不透明感はあるもののアベノミクス効果も奏功し、円高も是正され、10年前と同じく日本経済が再び景気回復基調にある中で、次代のスタートを切りました。

今後、さらなる環境変化と競争が予想される中、神戸製鋼グループ唯一の総合一貫物流会社として、その役割と期待は、ますます大きなものとなっていきます。物流のプロフェッショナル集団として、お客様から信頼され、「もっと仕事を任せたい」と思われる存在感ある企業を目指し、お客様にご満足していただける物流ソリューションを神戸製鋼グループ内外に発信し続けます。

われわれの使命は「お客様にとって最も快適な物流サービスを提供すること」と企業理念に掲げています。

これからも物流を通して社会に貢献していくことを目指し、神鋼物流グループ全員が一丸となって、次代の発展に向けて努力を積み重ね、全力で進んでいく所存です。今後とも、なお一層のご愛顧と、ご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2015年3月

神鋼物流株式会社  
代表取締役社長

岩佐 道秀